

トリノオリンピック冬季大会女子カーリング競技出場の「目黒 萌絵さん・寺田 桜子さん」を讃える会



てくれたことが、町の誇りです。」と2人の活躍を讃えました。また、来賓として出席した新田町議会議長は、「この小さな町からお2人が力を合わせながら、基礎を築いて、それが実を結んだと思いつつテレビで応援してました。今後またオリンピックに向けて頑張ってください。」と挨拶されました。続いて、この日のために駆けつけてくれました、日本カーリング協会の小林理事は、「成績は7位でしたが、今までのオリンピックに比べて5人のカー



オリンピックで使用したユニホーム一式が池部町長に手渡されました。



池部町長から2人にスポーツ栄誉賞が授与されました。

リング娘の健闘ぶりは、国民に感動を与えてくれました。」と喜びの挨拶をされました。続いて、富良野市在住の作家倉本倉さんから届いたメッセージが披露されたあと、2人からオリンピック報告が行われ、目黒さんは、「オリンピックで戦った9試合はどの試合も内容の濃い試合で忘れられない9試合になりました。カナダ戦では、1勝3敗と後がない状況だったので、この試合に勝てたことが特に思い出に残りました。南富良野に帰ってきて、ロシア戦とイタリア戦を皆さんで応援してくれていたという話を聞いて、自分達だけじゃなく皆で戦ってくれたんだと思うと本当に感激しました。日本中の皆さんがカーリングを見ておもしろいと気付いてくれたこと、そして多くの人に支えられて戦い抜けたことが、私にとって大きな喜びになりました。」と述べ、寺田さんは、「どの試合も思い入れが強く、皆で乗り越えてきた9試合で

3月26日、トリノオリンピック女子カーリング競技に出場した、目黒萌絵さん・寺田桜子さん」を讃える会が総合福祉センターで行われ、2人の活躍をお祝いしました。集まった約120名の町民が盛大な拍手で目黒さんと寺田さんを迎えて始まった讃える会では、2人の活躍を契機として新たに新設された「南富良野町スポーツ栄誉賞」の贈呈が行われ、町民に夢と希望更に感動を与えてくれたその栄誉を讃えて、池部町長が賞状と記念のトロフィーを2人に贈呈しました。このあと、空知川スポーツリンクスで日夜カーリングコート製の製氷作業に尽力した紺野義雄さんと、カーリング後援会長として2人の活躍を支えてきた小松忠雄さんが2人に花束を贈呈しました。主催者を代表して挨拶した池部町長は、「南富良野の落合で始まったカーリングで、世界の舞台上で南富良野の代表として、また日本の代表として精一杯頑張っ

した。私にとって本当に貴重な体験で、想像していたよりもすごく大きなものとなりました。たくさんの方々が応援してくれていたことを帰ってきてから初めて知り、本当にありがとうございます。私にとって南富良野の皆さんは、お父さんお母さんのような感じですが、こうして挨拶できることが本心に嬉しく思います。これからも皆さんが温かく見守ってくれたら、とても心強いものになりますので、これからもよろしくお願ひします。」と述べ、2人の報告が終わると、会場は大きな拍手で包まれました。町体育協会高松副会長の発声で乾杯を行ったあと、2人は集まった町民の皆さんに挨拶をしながらテーブルを回り、写真撮影やサインに応じるなど笑顔で歓談していました。最後に町カーリング協会三橋会長は、「この小さなまちでカーリングが始まってわずか10年足らずでオリンピック選手が出たことは夢のようです。町民皆さん



の応援に感謝申し上げます。」とお礼を述べ閉会しました。また、この日の午前中には、町カーリング協会の主催によるカーリング体験教室が、目黒さんと寺田さんも参加して空知川スポーツリンクスで行われ、参加した子どもから大人までの70名の町民の皆さんとカーリングを楽しみました。目黒さんと寺田さんの2人は参加した皆さんに、笑顔でストーンの投げ方やルールについて指導したり、子ども達と一緒にゲームを楽しみました。初めてカーリングを体験した参加者も多く、オリンピック選手に指導を受けたことで、カーリングの面白さにやみつきになったようでした。



教室の最後には、参加者全員が見守る中、オリンピック選手の試投が披露され、参加した皆さんは真剣な眼差しで2人を見つめていました。